

# 『超硬工具回収センター』ではこんなスクラップを回収しています。 (一部見本です)

## 1. 超硬ソリッド

超硬ソリッドとは…

超硬ソリッドとは、超硬以外の材質が接合されていない100%の超硬材を超硬ソリッドと呼ばれています。(下図の切削チップ、切削ドリル、エンドミルなどが代表的です。)

中には鉄付超硬やシャンク付超硬(ドリルの先端のみ超硬材で、柄(取っ手)の部分が鉄系材質)の場合があり、これらの異材質が接合されているものは、超硬ソリッドに含まれません。

### 1-① 切削チップ



切削チップは、旋盤やフライス盤などの切削機械のバイトの先端で使用されています。

形状は三角、四角、丸、菱形など様々で10~40mm程度の大きさです。

重さは、大きさにも依りますが、10~30g/個程度。

チタンコーティングしている切削チップは金色になっています

**注意！！**

切削チップを使用されている超硬ユーザーでは、同じ切削工具でサーメットチップ(写真A)やセラミック(写真B)を使用している場合があります。その場合、回収した超硬切削チップの中にサーメットチップやセラミックが混じっている場合があります。

サーメットチップは、同じ大きさの超硬チップに比べて約半分の重さになります。

混合状態での回収も可能ですが、当センター選別結果による検収となります。

サーメットは有価での買取が出来ますが、セラミックは無償引取となります。



写真A サーメットチップ



写真B セラミック

### 1-② 切削ドリル



穴あけ用超硬ドリルとしてマルチドリル(太径ドリル φ10~15mm程度)、マイクロドリル(写真C)(細径φ1~3mm)等があります。

切削チップと同様に先端部にチタンコーティングされているものがありますが、リサイクルの上では問題ありません。

**注意！！**

形状は超硬ドリルと同じですが、ハイス鋼(HIGH SPEED STEEL)(写真D)のドリルも使われております。ハイス鋼は成分としてタングステンも若干含まれていますが、主成分は鉄系材質です。超硬ドリルに比べて同じ大きさの場合、約半分の重さになります。

これも同形状ですが、シャンク付超硬ドリル(写真E)があります。写真Eに示すとおり、先端部の超硬とシャンク(柄)部が鉄系材質がロウ付けされているパターンです。ハイス鋼ドリル、シャンク付超硬ドリルともに有価での買い取りは可能です。



写真C マイクロドリル



写真C マイクロドリル(拡)

### 1-③ エンドミル



エンドミルも超硬ドリルと同様にサイズは様々ですが、先端部が平面になっています。

穴あけとは違い、溝削りや平面の仕上げに用いられます。

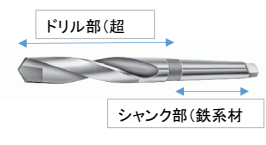
**注意！！**

エンドミルも超硬ドリルと同様にハイス鋼やシャンク付のものがあります。

いずれも有価での買い取りが可能です。



写真D ハイス鋼ドリル



写真E シャンク付ドリル